

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

# 内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

## 第9期介護保険料案 基準額 月2000円の引き上げ

12月25日第3回介護保険運営協議会が、委員17名中11名の出席で開かれました。介護報酬の引き上げを想定し、2024〜2026年の介護保険料と介護計画案が示されました。現在基準額である第5段階の保険料5000円を2000円引き上げる案です。保険料段階は15段階を設定し、最高額を1000万円以上に設定する案が示されています。パブリックコメントを経て、2月16日に第4回介護保険運営協議会が開かれ最終的な協議案案が決まります。今後の3年間の介護保険料について、町民の立場から、パブリックコメント等で意見を出していきたいでしょう。



### 奪2倍の投入を決断しないか

事務局からは、基金は現在約2億2千万円ある中で、今後の中期的な計画から7520万円を投入する5200円の案と1億2千万円投入して現状維持の5000円の案が提示されました。

事務局の説明では、今後の介護報酬があり、さらに、基金の投入もあるとの予想から現行から2000円引き上げて5200円にする提案がなされました。審議会の意見を尊重したいとの説明から賛否をどうとことになりました。

委員からは、低所得者への配慮から1億2千万の基金の投入で現状維持が望ましいとの意見も出されました。しかし、多くの委員は今後のことを考え事務局案を支持しました。ある委員からは、「もっと審議会には専門家に入ってもらわねばよくわからん」との発言も出されました。

### 基金の取崩し 前1億2千万円 今回は7520万円のみ

第8期の基金投入額は、基金1億9563万円のうち1億2千万円取り崩しました。しかし、今回第9期は、約2億2千万円(年度末には約2億4千万円になる)のうち、前回を大きく下回る7520万円しか取り崩していません。12月議会の内田議員の質問に、基金を2億円投入すれば、保険料を下げることもできると担当者は答えています。

介護保険法129条には、「保険料は概ね3年を通じ財政均衡させるものでなければならぬ」としています。厚労省介護保険課資料(2008年12月25日付)では、「本来は当該基金が造成された期における被保険者に還元されるものであり、基本的



介護保険法129条には、「保険料は概ね3年を通じ財政均衡させるものでなければならぬ」としています。厚労省介護保険課資料(2008年12月25日付)では、「本来は当該基金が造成された期における被保険者に還元されるものであり、基本的には次期計画期間において歳入として繰り入れるべきものである」としているのです。6年、9年後を見通すことにはなっています。今回の町事務局の提案は厚労省通知にも反します。他市町の状況については事務局からは、「県からの調査の一覧表はある。市町の検討段階で近隣では、美浜町は引き下げ、武豊町は増え置きを考えている。北部は月額1000円も上がる。基金は、南知多町は7520万取崩だが、他はもっと取り崩している可能性もある」とする説明もありました。

### 介護保険料段階 15段階が実現

内田議員が12月議会の一般質問で求めた応能負担に基づく介護保険料段階を、現在の12段階から13段階以上に改定する要請には、国の指示もあり、南知多町は15段階になりました。特に最高段階は内田議員も指摘していた1000万円以上の高額者を設定し、保険料1段階から3段階の非課税者への保険料軽減につながることにあります。この決断は積極的な応能負担原則によるもので評価できる計画です。

他市町の状況については「阿久比町は15段階で検討されている。知多半島で統一はできない。15段階が多いのではないかと。段階的に増やすことが多いと考えている」と答えました。



### 町民から発信を

#### パブリックコメント1月12〜26日

今後、第9期介護保険計画は、2月16日の第4回介護保険運営協議会で最終的に決定されます。1月12日から26日までホームページでこの第3回運営協議会の案が提案され、パブリックコメントが実施されます。ホームページから提案を確認していただき、介護保険料・訪問介護・デイサービス等の様々な介護計画について意見を出していきたいでしょう。

(川柳コーナー)

避難所はなくて寒い体育館

元日に起きた能登半島地震。約3万人の人が避難所に避難している。この寒い冬に、日本では今だに広くて寒くてフリースパシーのない避難所が多いが、先進国では家族ごとに入れる大型のテントやコンテナ式のトイレやシャワーが用意されること。